

---

# リアルロボット大戦

うさぎたるもの

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

リアルロボット大戦

### 【コード】

N6933Y

### 【作者名】

うさぎたるもの

### 【あらすじ】

この物語は仮想未来で行われている リアルロボット大戦の物語です

西暦30XX年 地球のゲーム企業は一つだけになり 昔大人気を誇ったゲームのリメイクとして作られた ロボット大戦が爆発的にヒットした物語である

## 一話目

### プロローグ

30xx年 バンP会社が様々なスーパーロボット作品を送り出したがついには

ネタ切れという危機に入っていた 元々スパロボは地球を舞台に様々な勢力が争い

主人公チームが最終的に勝つという王道ストーリーでは有ったは過去の話だ

著作権が切れいてない時代は様々な問題を抱えてしまった為が既に版權は完全に切れており、一部のゲーム会社は既に殆どが吸収合併されていた、これは2000年の時に地球経済が様々な問題で破綻しかかっており、ゲーム業界もその波を受けて

規模縮小や色々な関係で小さいゲーム会社は大きい会社に吸収されてようやく落ち着いて来た頃にこのゲームの発売が発表されたのだ。

2

ただしもはやインターネットは当たり前前の時代の上に家で座ってするゲームよりかは五感を全て体験するゲームが開発されたり。動くゲームが当たり前の時代でリアルスーパーロボット大戦は過去存在するありとあらゆるゲーム作品・アニメ作品を

使えるゲームを開発して発売した所・・・

その内容がとんでもない内容である ゲーム本体を買って家にあるパソコン本体にダウンロードを完了させて 付属品として有る程度の歴代で使われたロボット達のデータと母艦が着いてくるだけであ

り

たとえばマクロス系・ヤマト系を追加情報としてダウンロードした  
いはゲーム屋

パソコンショップでそのメモリーチップを買って着てダウンロードし

オンラインで有る程度編成したデータをオフラインにつなげると自  
動的に

自分の本拠地や設定が出てきて そこから地盤を固めの時間とゲー

ム内時間として

二千年が与えられて

リアル世界では20日で開発会社が決めた特定の銀河空間でバトル  
を開始して、

勝利を収めたプレイヤーはその銀河空間を支配できる権利が与えら  
れるという特典があり、

その為にこのゲームは莫大な利益を生む大ヒットゲームとなった・

そしてこのゲームを買った青年もまた初期配備された物以外にダウ  
ンロードしたのは次の通り

ヤマトシリーズ・GEAR戦士電童・天地無用シリーズ・Vガンダ  
ム・F91・ガンダムである

そして初期コスト二十億なのでそろえられる部隊には必然的に限り  
がある

それを使ってヤマトシリーズのみでそろえたプレイヤーはゲッターの世界が本拠地になるという揃えた部隊によつては本拠地となる設定と時間が色々変わる為に

様々なプレイヤーからは人気である ランダム配置であり 時間を使って戦力を充実させることは歴代のスパロボットシリーズではなかったことだった

そしてこの青年は この初期コストを使い様々な部隊を作り上げたヤマトシリーズからは5億を使い復活編に出てきた輸送船団500とヤマト復活編使用 コスモパルサー50機を一部隊目に

2部隊目は マクロスシリーズから 輸送船団を20隻作り その合計が十億のコストもかかっただが 最新鋭気のパルキリーは流石に無理があつたので

中古のパルキリーを五万機ほど用意できた サンダーボルトタイプではあつたが。

3部隊目はガンダムシリーズで統制されていて ラーカイラム級が20隻 クラップラー級が500隻 ガンプラスターが500機  
F91が20 V2AB機が一機 コロニー30機 内訳 工業用10基 農業用10基 住民用10基で十億がとんだ

そして 移動本拠地として天地シリーズから 王家機のユニット【津波】タイプだけで五億が飛び プレイヤーアバタータイプとしては正樹・天地タイプに設定オフラインからオンラインに移動した瞬間にランダムの本拠地が決定したのだ

その世界とは・・・無人世界だった かつては文名世界が存在したが長年の戦いや様々な状況で死滅した世界という内容で有った。

それを受け取った青年はため息をついた

「だがこれは仕方がないことだ、この編成ではどう考えても文明がある世界に入れるわけにはいかないし」

たしかそうなのだ マクロス船団クラスや ヤマトの船団がある内は下手な有人世界では簡単に戦力が整えられるし、その世界を征服もできるその事を考え場妥当な判断である

「でもやはりヤマト復活編クラスは高いかが良い買い物をしたと思っっている」

このあとこの青年は最初に有る程度の指示と適当に見つけた惑星のテラフォーミングの実行を行って今回はログオフをした、別に最初から最後まで指示をだす必要はないゲームであるこの手のゲームは

そして青年は明日の仕事に行く為にご飯を食べて風呂に入り布団を引いて眠った。

## 二話目

日陰ワタルが仕事の関係上どうしても 五日間ロゲインが出来なく  
つていたがそれでもなんとか

ロゲインをする前にこの手の物は 換金システムが搭載されている  
事が多く このリアルも例外ではなかった。

その為に現金にして五万円を換金して 二つの平行宇宙の購入して  
その一つは元々エロゲーとして大ヒットしたマブラヴシリーズをイ  
ンストールして残りの一つを魔法先生ネギま！の世界をインスト  
ールして ロゲインをした。

津波の艦内 会議室では ようやく現われた日陰ワタル総司令が今  
まで散々放置していた為に洒落にならないほどの報告書とそれぞ  
れの部署のトップが雁首をそろえて議会が始まっていた。

「すまない・・・今まではこちら側を忘れていたわけではないが、  
他の案件で手が一杯だったことから

レビル副総司令と情報部総司令官である瀬田様にも申し訳ない」

他にも議会メンバーとしては補給部総司令官ゴツプ提督や移民船団  
総司令官兼マクロスクウォーターのジェフ艦長や そして軍隊で中  
で一番異彩を放っている部署 Rond・ベルト総司令官だけは欠席で  
その代わりにヤマトの初代館長の沖田艦長が代行で出ているだけ  
である。

「なに・・・総司令官殿ではない・・・実際に新たな平行宇宙をこ  
の五百年で二つも見つけてくるとは並大抵な努力ではないからな」

レビル副総司令官は日陰総司令にねぎらいをかけると共にこの情報を最初に知った情報部にも少しだけ横目で確認すると。

「まっあ・・・総司令官殿もやることはやっているけど、他にも言うことはあるとおもいませんか？」

流石は樹雷王国で影の樹雷王よりも権限や様々な事を知っている鬼姫である。

その鬼姫の一言で他の総司令のメンバー達も多少は動揺が見られるがそれでもここにいる全ての人類は

生体強化で最低でも三千年は生きられる用に調整が済んでいるお陰で、歳が来て政権交代や派閥争いでの戦いが殆ど皆無に近い形なのだ。

最もこの情報はガンダムシリーズで穏健派で人権等比較的良いレビル將軍と情報戦では樹雷の鬼姫とよばる2人にしか真実は話していないが流石に五百年もたち4銀河も再開発が終り現在も他の銀河系を開発中の今でしか報告はないと鬼姫とレビル將軍が Kをだしたのだ。

「分かりました 今から一つの真実を話します、これは機密上瀬戸様とレビル將軍の2人だけに話していましたが、実は・・・我々はあと五百年後にこのどの勢力も手にいてれない並行宇宙をかけて一大決戦で何処かの平行宇宙に存在する我々と似た勢力と一度だけ戦いその勝者がその平行宇宙の支配権を手に入れます。その為に現在自分の一存でロンド・ベルー銀河艦隊を自分が見つけた平行世界

に送りこんで戦いの経験を積んでもらっています」

その言葉にジエフ総司令は渋い顔をして、兵站を担当しているゴツプ提督も有る意味納得はしている

ゴツプ提督もこの戦いの条件は納得もしているしリスクも・デメリツトも分かっているのだ

『なるほど・・・どうりでレビルと鬼姫が・・・何かを隠していた事がこんな事だったとは・・・確かにこの情報は秘匿中の秘匿情報だ、だが今は総司令官殿が見つけた平行世界の開発で十分に景気が上がるし、デメリツトは参戦しなかった時はその世界に入れないかもしくは入れたとしても泥棒のような形になるかがだな』

ゴツプは元々政治力がありその政治的判断で自分の派閥に属している人達はそのグリプス戦役や第一次ネオ・ジオン抗争も無事に舵を取り乗り切った程の老人なのだ。

沖田艦長もヤマト世界から来た事もあり無人の【この世界】なら開発な平和維持為に戦力の充実や開発に力を入れていたが、それをわざわざ自分達と似た勢力と戦い勝利した側がその並行世界を支配する権利がもらえると情報だけでは現在の戦力大半を振り向けることは無理であった。

ただしロンド・ベルト隊は治安維持の為に総司令部から独立した部隊でありその戦力は自由に使える戦力であるただしこれはその部隊のブライト総司令官が納得するか 二つの部署の総司令官の命令書があれば動かせるという制限があるがそれでも十分に強い戦力であった。

そうして議会が困惑している中ロンド・ベルト隊から通信が入ったのだ。

「こちらはロンド・ベル総司令官、ブライト・ノア准将から報告があります、一つの平行世界では太陽系に未知の生物が地球人類を滅ぼす為に行動中とその地球側のコンピューターにハッキングして情報を引き出した結果・・・現在我々は火星と月に存在する未知の生物の全ての拠点の撃破に成功して我々が木星・彗星・冥王星・金星も同時に基地化とコロニーを建設中であります」

この情報はすくなたらず議会に動揺をもたらせると事となる。

「分かったブライト准将・・・現在こちらにMSの設計図を幾つかデータで送ると同時にそれを大量生産できるラインを確保してくれ・・・自分の一存ではあるが人類が生きているなら多少なりともその人類滅亡を防ぐ為に動いても問題だと判断する」

「ハッ・・・分かりました日陰総司令官殿」

そして日陰は旧式であるMSの設計図のデータ中から【RX-181】  
【RX-75量産式】【RX-78NT-1】と換装パーツのデータをロンド・ベル隊に送った、最もロンド・ベル隊で使われているMSはガンブラスターで統一されており、第一世代から第二世代まで中間期世代にやられるMSではないのだ。

この情報のやり取りは議会の連中にも分かるようにデータが閲覧可能な情報な為に殆どの議会に出ている総司は納得していた。

完全な旧型であるし、しかもハックしたコンピューターの中にあつた最新型の第二世代型性能は旧式のザク程度しかない。そんな世界では幾らこちらの旧式を渡しても即座に反乱はないと殆どが判断したこと、武器だけではなくて生活用品・医療関係もあるていどは売れると判断したためでもある。

それに新たに二つほど送られた設計図はミディア級と陸上戦艦の設計図であつた、これはその殆どが地上戦で有ることとMSを輸送できる能力を持った輸送機があるかどうか分からない上にちゃんとした陸上で指揮できる戦艦も必要であると判断されたことでも有つた。

こうして送られた設計図の殆どは、いまだ平行宇宙では火星までは宇宙航行が出来ない為と安全の考慮もあり火星で大規模な工場が造られて一ヶ月の内にそれぞれのMSが最低でも補修パーツなどを含めて五百機が作られる事になる。これは本来千機は軽く超すが向こうに持っていたラー級とクラップ級とガンブラスターを初めとする補修パーツ等も含まれる為に仕方がないことではある。

そして月では逆に輸送機と陸上戦艦を造る生産ラインがスタートすると同時にこちらでも有る程度の自衛用としてMSの生産ラインが入れられている。こちらは一年で500機しか作れないがそれでも向こうの人類側には逆立ちしても造れない高性能機体であるその為、仮にスパイが入り込んでもいいようにダミーラインで有る事は議会連中が話し合つて決めたことでもあつた。

こうして幾つかの決め事が決まり、今までの増えた人類の人数も含めて一兆という途方もない数字ではあるが実際には少ない人口でも

有るところは議会の連中も知っていただからこそその生体強化なのだ。

こうして議会はようやく終り・・・

日陰総司令官は それぞれの保有戦力と予備戦力・今まで貯めてある資源など報告書を読んで有る程度の決め事を決めると再びレベル將軍と鬼姫コンビに有る程度の指示をだしてロゲインをした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6933y/>

---

リアルロボット大戦

2011年11月20日21時43分発行